

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 5. 16

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）田辺（福浜小）福井（伊島小）

日曜日の午後から福井家4人と西本さんの奥さんと子供さん2人の計7人でサイエンスフィールドへ「梨の袋かけ」に行ってきました。着くとすぐに、息子たちは池に直行しヤゴ捕り。続いてキャベツ畑で青虫とり。さらに石浦先生に巨大なカブトムシの幼虫を3匹ずついただき完全に舞い上がっておりました。梨の袋かけでは、かけた袋に自分の名前を書かせてもらい、次の袋替えにもかならずくると張り切っております。石浦先生の奥様には、カップケーキをいただきました。子どもたちにとっても大人にとっても素晴らしい午後でした。みなさまも休日には自然に囲まれたサイエンスフィールドへ家族で足を運んではいかがでしょうか。

【注射器を使った浮沈子】石浦

魔力「オストシズム」の別名を持つ浮沈子ですが（押すと沈む）、空気は押し縮められるが水は押し縮められないという3年生の学習に使えます。この浮沈子をさらに改良して注射器を取り付けたことで、空気を押し縮めると元に戻そうという力がはたらく、ということにも容易に気づくことができそうです。注射器の取り付けは、ペットボトルのキャップに小さめの穴をあけ、熱帯魚用のビニールパイプを無理矢理にねじ込むだけで接着剤はいりません。あと、梱包用クッション（つぶすとプチプチいうやつ）を使った浮沈子も見せてくれましたが、これも身近な材料を使っているという点でなかなかのものです。

【簡単飼育箱】石浦

おにぎり用のパックを利用した飼育箱です。これの良さは①上部が非常にクリアで観察しやすい、②とても安い、です。これから児童用飼育箱の定番になると確信します。パックはスーパーなどでも購入できるそうです。

【空気エンジン】高松・福井

圧縮された空気でピストンを動かして飛ぶ模型飛行機です。同じ日にまったく同じ物を二人で持ってきたのが面白かったです。どうして同じ物を持ってきたのかを突き詰めていけば「理科離れ」に対処するカギが見つかるかも知れませんね。

【不思議なおブジェ】福井

前回の倉橋さんの「ピカチュウ」に触発されて自分の顔で作ってみました。Wordを使うと簡単にできました。

【俳句カード】高松

五色百人一首への導入用の「俳句カード」です。子供達にとって分かりやすい言葉で、24枚という枚数や源平合戦という対戦方法もおもしろいです。

